

認知症かな？と思ったら

認知症は早期受診、早期診断、早期治療が非常に重要です。認知症の中には、早期に治療をすれば治せるものもあります。脳血管性認知症は、脳血管障害の再発や大きなストレスを防ぐことによって進行が止まることもあります。

また、アルツハイマー型では薬で進行を遅らせることができ、早く使い始めることで健康な時間を長くすることができます。

本人が病気を理解できる時点で受診し、少しずつ理解を深めていけば生活上の障害を少なくしたり、その後のトラブルを減らすことができます。症状が軽いうちに自分の今後のことを考えておく等の準備や手続きをすることで、自分らしい生き方をすることができます。



早期診断・早期発見が大切です！

早期治療で改善も期待できる場合があります

認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療を始めることで、改善が期待できるものもあります。

進行を遅らせることが可能な場合があります

認知症の症状が悪化する前に適切な治療や内服を早い段階から行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。

今後の生活のさまざまな準備をすることができます

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。